

## 出生直後の早期母子接触

大阪母子医療センターでは、早期母子接触を推進しています。

お母さんと赤ちゃんが直接肌と肌を触れ合わせて抱っこすることを、その様子から愛称としてカンガルーケアと呼ばれるようになりました。その中でも、生まれたばかりの赤ちゃんとの皮膚接触を早期母子接触(early skin to skin contact)といいます。



### 生まれたばかりの赤ちゃんはお母さんの肌の温もり、感触が大好きです。

生まれてすぐ家に赤ちゃんとお母さんが肌と肌を合わせ抱っこして過ごすのはとても大切なことです。多くのお母さんが「命の重さを感じた」「赤ちゃんが愛しい」「不思議な気持ち」などと感想を述べています。早期母子接触はお母さんと赤ちゃんの絆づくりやその後の母乳育児につながります。

最近、さまざまな研究によって、早期母子接触がお母さんと赤ちゃんに良い影響を与えることがわかってきましたので、当センターでは、早期母子接触をすすめています。 但し、生後早期の赤ちゃんにとって子宮外の環境に適応し、状態が安定するまで時間がかかることもありますので、母子接触を行う場合は、赤ちゃんの体温や顔色、モニターによる体の中の酸素量が適切かを測定し、安全性に最大限配慮しています。